

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

資源交通通程手引
向地ニ於テノ欲道状況

国立公文書館	
分類	③ 赤
配架番号	3 A
	14
	11-4

185

PD
18

PACMIRS
2996

極秘

資源交通通信第三號

向地ニ於ル
鐵道狀況

昭和二六、九、一七

滿洲德第三〇三六部隊

調査班

国立公文書館	
分類	
配架番号	11-4

目次

第一 極東鐵道ノ一般的考察

- 一 本鐵道ノ特性
- 二 本鐵道成立事情
- 三 本鐵道戰路の價値ノ考察
- 四 戰時固定施設ノ能力ヲ完備スルノ手段
- 五 特ニ注意スヘキ事項

第二 極東鐵道ノ概況

- 一 極東鐵道ノ概念
- 二 管理組織
- 三 固定施設

附圖

- 第一 極東鐵道概見圖
- 第二 バム鐵道建設狀況概見圖

第一 極東諸鐵道ノ一般的考察

一 本鐵道ノ特性

蘇聯邦勢力下ニアル極東諸鐵道ハ舊帝政時代侵略政策ニ基キ軍事上ノ要求ヲ主要條件トシテ建設セラレタルモノニシテ豫メ戰時大輸送實施ニ必要ナル諸施設ノ基礎ヲ構成シテ開戦ニ際シ比較的簡單迅速ニ輸送力ヲ増加シ得ヘキ特性ヲ有ス

二 本鐵道成立ノ事情

本鐵道ハ當初一日僅カニ三列車(一列車ニ百噸)ノ運行ヲ目途トスル低キ技術的條件ヲ以テ建設セラレ從ツテ軌條ノ如キモ輕量ノモノヲ便用シタルモ北清事變後輸送力ノ増大ヲ圖リ輕軌條ヲ重軌條ニ取換ヘ停車場其他固定施設ノ擴張ヲ行ヒ列車ノ運行數及列車速度ヲ増加シ日露戰爭開戦直前ニハ一日九列車ヲ運行シ以テ日露開戦ト共ニ銳意更ニ輸送力ノ増進ニ努メ林戰時期ニ於テハ一日ニ二十列車ノ運行ヲ許

スニ至レリ、日露戦争後西伯利横断鉄道、根本的改善（複線工事黒龍鉄道ノ建設等）ヲ計画シ戦時日々單線部ニ四列車複線部四八列車ノ運行ニ支障ナキ固定施設骨幹ノ形成ニ努メ一九一五年其工事ヲ完了セリ、然ルニ程ナク勃発セル革命ノタメ一時鉄道ノ荒廢甚シキモノ下クシカ革命ノ終息ニ伴ヒ復舊工事ヲ開始シ次テ一九二八年第一次産業五年計畫ニ基ク重工業偏重政策ニ因ル西部西伯利ノ經濟發展ニ伴ヒ西伯利幹線ノ改善並ニ之ヲ並行線（トウソクニシテ鐵道等）ノ建設ヲ進メシカ更ニ一九三二年第二次産業五年計畫ヲ立ソルヤ特ニ極東西伯利ノ開發ニ重點ヲ置キ後員加爾及烏蘇里鐵道ノ複線工事、線路ノ補強待避驛ノ増設停車場及工場ノ擴張若クハ新設等ニ着手シタルカ會々滿洲事変ニ基ク帝國勢力ノ北滿進出ニ伴ヒ彼ハ其ノ極東兵力ノ増加ト相俟テ前述ノ諸建設ニ一増ノ熱意ヲ加フルニ至レルノミナラス今ヤ第二次西伯利幹線タルハム鐵道ノ建設ニ着手セシコトハ特ニ注目ノ要アリ

三 本鐵道ノ戰略的價値ノ考察

本鐵道カ蘇聯邦極東政策遂行上重要ナル骨幹ヲナスハ勿論ニシテ特ニ極東方面ニ於ケル軍隊ノ集結並ニ對スル軍需品ノ大部ハ之ヲ本鐵道經由政露又ハ西部西伯利ヨリノ追送ニ仰カサルハカラス、而シテ沿海洲方面ニ對スル補給線トシテ帝政時代ニ在リテハ後員加爾鐵道、烏蘇里鐵道ノ外東支鐵道及黒龍江ノ水運ヲモ利用シ得タルモ滿洲事変ヲ契機トセル帝國勢力ノ北滿進出並該方面ニ其ノ支配力ヲ失墜セル蘇聯邦ノ現勢ニ依リテハ之等ノ補給線ハ後員加爾鐵道及烏蘇里鐵道ヲ余スノミトナリ本鐵道ノ價値ヲ増大セリ

又新ニ建設ニ着手セル、第三西伯利幹線ハ前述ノ見地ニ於テ其戰略的意義極メテ大ナルヲ看過シ得ス、然レトモ之等ノ鐵道ハ孰レモ其ノ長延ナル側面ヲ滿洲國側ニ暴露シタルハ之カ破壊企圖等ニ對シ常ニ弱点ヲ形成スルモノトス

四 戰時固定施設ノ能力ヲ完備スルノ手段

1. 戰時輸送ニ必要ナル固定諸施設ヲ悉ク平時ヨリ完備スルハ
 不_レ要且_レ不_レ經濟ナルヲ以テ停車場ノ如キモ平時開業セル停
 車場及待避驛、平時ハ閉鎖セルモ戰時直チニ開設シ得ル待避
 驛及平時ハ單ニ戰時急速ニ待避驛ヲ構築シ得ル爲ノ土地ヲ
 準備シアル待避驛廣場等ニ區分シテ開戦ニ當リ迅速ニ
 戰時輸送力ヲ構成シ得ル如ク準備シテアリ
 2. 給水設備ノ能力ハ平時ヨリ戰時ノ所要量ニ應_レシ得ル如ク施設
 シ暖水装置ヲ完備シテアリ
 3. 西伯利鐵道ニアル機關車數ハ最大輸送力ヲ發揮スル爲ニハ著
 シク不足スルヲ以テ開戦ニ際シ歐露ヨリ多數機關車ノ東送ヲ
 必要トス。之カ爲帝政時代ニテハ戰時所要四ヶ月分ノ燃料
 ヲ常時準備スル如ク規定シ又革命後ニ於テハ二十日乃至二
 ヲ月分ヲ貯藏スヘキ規定アリシカ如キモ其ノ眞偽及規定實施ノ
 狀況明オナラス
 4. 沿線ニハ車輛及機關車修理工場ヲ新設若クハ擴張シ別ニ車庫ヲ

新設中ナルカ如シ
 5. 鐵道確保ノ爲整備隊ヲ設ケアルカ如ク重要ナル停車場及術工場
 (橋梁、墜道、給水施設等)ニハ直接掩護ノタメ平時ヨリ之ニ配兵
 シテアリ
 五、特ニ注意スヘキ事項
 1. 軌條ハ逐次抗力太ナルモノト取替ヘ枕木モ亦之ヲ更新シ一部線路
 ノ變更ニヨル路盤ノ改善等ヲ實施シ大型機關車ノ運行ニ支障
 ナキ如ク改善工事實施中ナリ
 2. 橋梁ノ大部ハ其ノ設計荷重從來大型機關等ニ對シ抗力薄弱ナ
 リシヲ以テ設計荷重大ナルモノニ架替ヘン、アリ又複線部ニ
 於ケル新線橋梁ノ設計荷重大型機關車ノ通過ニ支障ナキ
 モノ、如シ
 3. 停車場間隔短縮ノタメ新ニ待避驛ヲ増設シ又ハ平時閉鎖セ
 ル待避驛ノ一部ヲ開設中ナルモノ、如シ
 4. 給水設備ノタメ鑿井ニハ夏季ニ於テモ凍給層ヲ掘鑿セサ

ルハカラス、冬季ニ於テハ更ニ給水塔及水管ノ氷結豫防法ヲ
講セサルヘカラテ、ルヲ以テ作業者シテ困難ナリ
工場及機關庫ノ任務ハ本邦ノモノト稍ニ異ニシ工場ハ主ト
シテ大修理ニ任シ機關庫ハ中修理以下ノ作業ヲ實施シ宛然小
工場ノ觀ヲ呈シアリ

6. 輪轉材料ハ新古雜多ニテ革命後ハ外國ヨリ購入セルモノ多
數存スルモ全般ノ増加ハ大戰前ニ及ハス又輪轉材料ノ故障
率ハ割カラサルカ如キモ近時大型機關車ヲ購入又ハ製作中
ナルカ如ク修理工場モ之ヲ新設又ハ擴張中ナルヲ以テ計畫
完成ノ曉ニハ修理能力向上スルナラン

7. 燃料ハ從來一部ニ於テ薪ヲ使用シアリシカ近時之ヲ廢シ石炭ヲ
専用スルニ至ル

8. 嚴寒ノ鐵道ニ及ホス影響頗ル大ニシテ機關車及給水設備等
ノ暖房裝置破壊セラレシカ機關車ノ迅速ナル運轉開始及
給水ハ極メテ困難トナルニ至ルヘシ、又機關車ニアリテハ蒸

氣力薄弱トナリテ牽引力ヲ減少スルノミナラス、之カ修理點檢ノ能
率ヲ低下シ客貨車ニアリテハ暖房給水裝置排水管等ノ凍結及
各種潤滑油ノ硬化等ニ因ル故障ヲ発生ス又一般ニ鉄製品ノ脆弱
トナルニ因ル折損ヲ招來ス

線路破壊セル場合ニ於ケル應急修理ニ方リ氷結セル河川上ノ
應急的線路敷設及架橋作業等ハ却テ梗ナルコトアリ

9. 従業員ノ素質ハ革命以來著シク低下シ特ニ作業規律ノ不十
分、優秀技術者ノ不足夫産党員タル従業員ノ横暴干涉等
ハ最大輸送力發揮上支障ノ原因ヲナセリ、然レトモ當局ハ近
時大ニ覺醒スル所アリテ組織ノ改革機能ノ向上ヲ企圖シ軍人タ
ル經驗ヲ有スルモノ及有能ナル共産党員多數ヲ従業員ニ當テ
鐵道ノ軍隊化ヲ促進セントシソ、アルカ如キモ其ノ詳細明カナ
ラス、尚政府ハ特別規定ヲ設ケ鐵道長官ノ下ニ鐵道政治部ヲ
設置シ従業員間ニ於ケル政治工作煽動工作ヲ掌ラシメアルモ
之カ實施ハ不徹底ニシテ却ツテ業務ヲ繁雜ナラシメアルカ如シ

第二、極東鐵道ノ概況

一、極東鐵道ノ概念

向地ニ於ケル鐵道ハ之ヲ總稱シテ極東鐵道ト呼ビ其ノ總延長ハ
 二〇四七浬ニシテ其ノ内容左ノ如シ（別紙第一要圖參照）
 一、極東鐵道幹線 浦塩—アムハラ間 一、二一—浬
 二、 綏芬河支線 ウオロシロフ—綏芬河間 一、二三—浬
 三、 ツリ—ログ支線 マンゾフカ—ツリ—ログ間 一、四一—浬
 四、 蘇城支線 ウゴリヤヤ—ラチス間 一、七一—浬
 五、 其ノ他ノ支線 四〇—浬
 右ノ外東ハ日本海ニ面シタルノウイェト湾ヨリ 西ハバイカル湖ノ
 西方タイシエトニ至ル全長 三、五〇浬ニ及ブ所謂バム鐵道ノ
 建設ハ極秘裡ニ進行中ニシテ部分的ニ竣工セル箇所アルモ
 建設狀況ノ詳細ハ全ク不明ナルカ本鐵道建設ノ意義ハ軍
 事的ニ極メテ重大ニシテ偵諜ヲ怠ルヘカラサル所ナリ
 （別紙第一要圖參照）

二、管理組織

- 一、管理局所在地 哈 府
- 二、運輸事務所在地
 - 第一運輸區 オフルキエ
 - 第二運輸區 哈 府
 - 第三〃 ウヤセムスカヤ
 - 第四〃 ル—ジノ
 - 第五〃 ウオロシロフ
 - 第六〃 ペルワヤレチカ

三、固定施設

極東蘇聯ニ於テハ扇型ノ機關庫ヲ有スルハ、ペルワヤ、レチカ、
 ウオロシロフ、ウスリスギ、ノミニシテ大部分ノ機關庫ニハ
 轉車台ノ設テテ三角線ヲ利用シタルモノ、如シ
 機關庫所在箇所敷並所在驛間平均巨青料程左ノ如シ

極東鐵道幹線
綾芳河支線

2

幹線部ニ於ケル機關庫所在地ノ大略平均区間巨膏ハ一三〇料ナリ
給水施設

極東蘇聯ノ鐵道ニ於ケル建設當初ヨリノ各駅ニハ殆ント總テ給
水施設設ケラレアルモノ、如シ

行達駅以外ニシテ給水施設ヲ有セサル駅ハ極メテ稀ナリ
又建設當時ニハ主トシテ河川ノ水ヲ利用シタルカ如キモ最近

ニ於テハ努メテ地下水ヲ利用セントスル傾向アリ
施設工事ニ伴ヒ在來ノ給水施設以外ニ之ト同様又ハヨリ容量

ノ大ナル給水施設ヲ別個ニ新設セラレタルモノアリ
判明セル給水施設所在駅數左ノ如シ

極東鐵道幹線
綾芳河支線
ツリローグ支線

四五 (区間平均料程 二八一)
四 () () () ()
三〇七
七〇五

3

蘇城子支線

二 (区間平均料程 八五五)

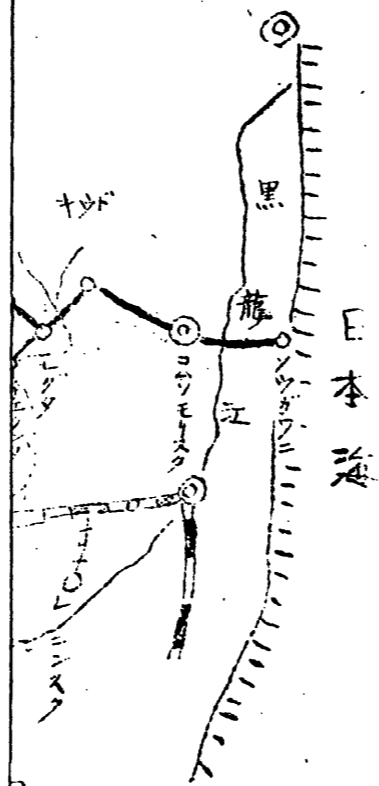
線路施設ノ大要左ノ如シ
(一) 最高勾配 一〇〇〇分ノ一

(二) 最小曲線半徑 一〇〇〇分ノ三六ノ個所アリ

(三) 平地区間 五三三、四米
山地区間 二五六、四米

(四) 軌條 一丈ニシテ (六〇ポンドレールニ相當)
或ハ右以上ノ軌條ニ交換シタル部分アリト見料セ
ラル

(四) 軌間 一米五二四





圖況概況狀設建道鉄ムバ

道鉄ムバ

註記

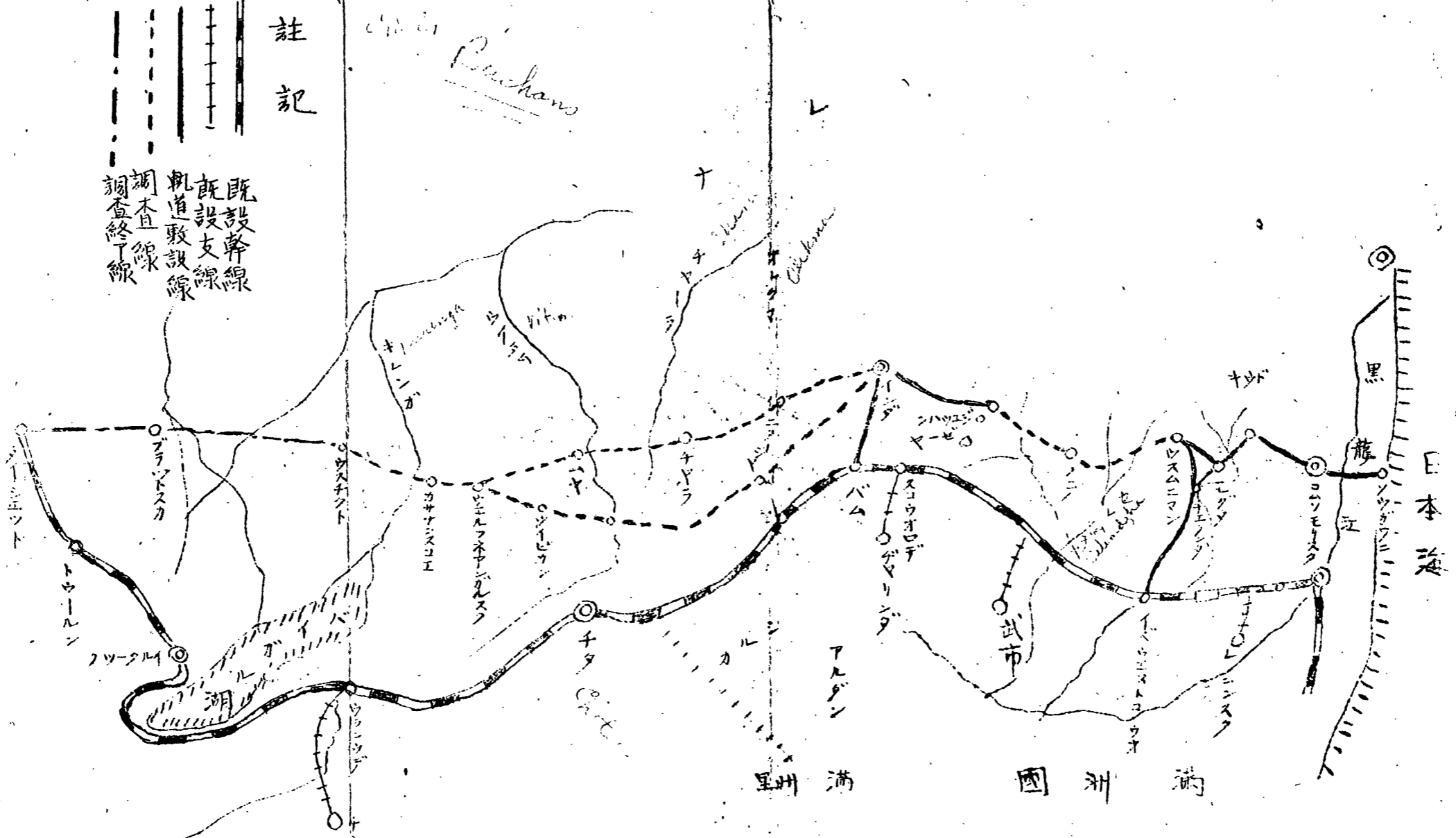
既設幹線

既設支線

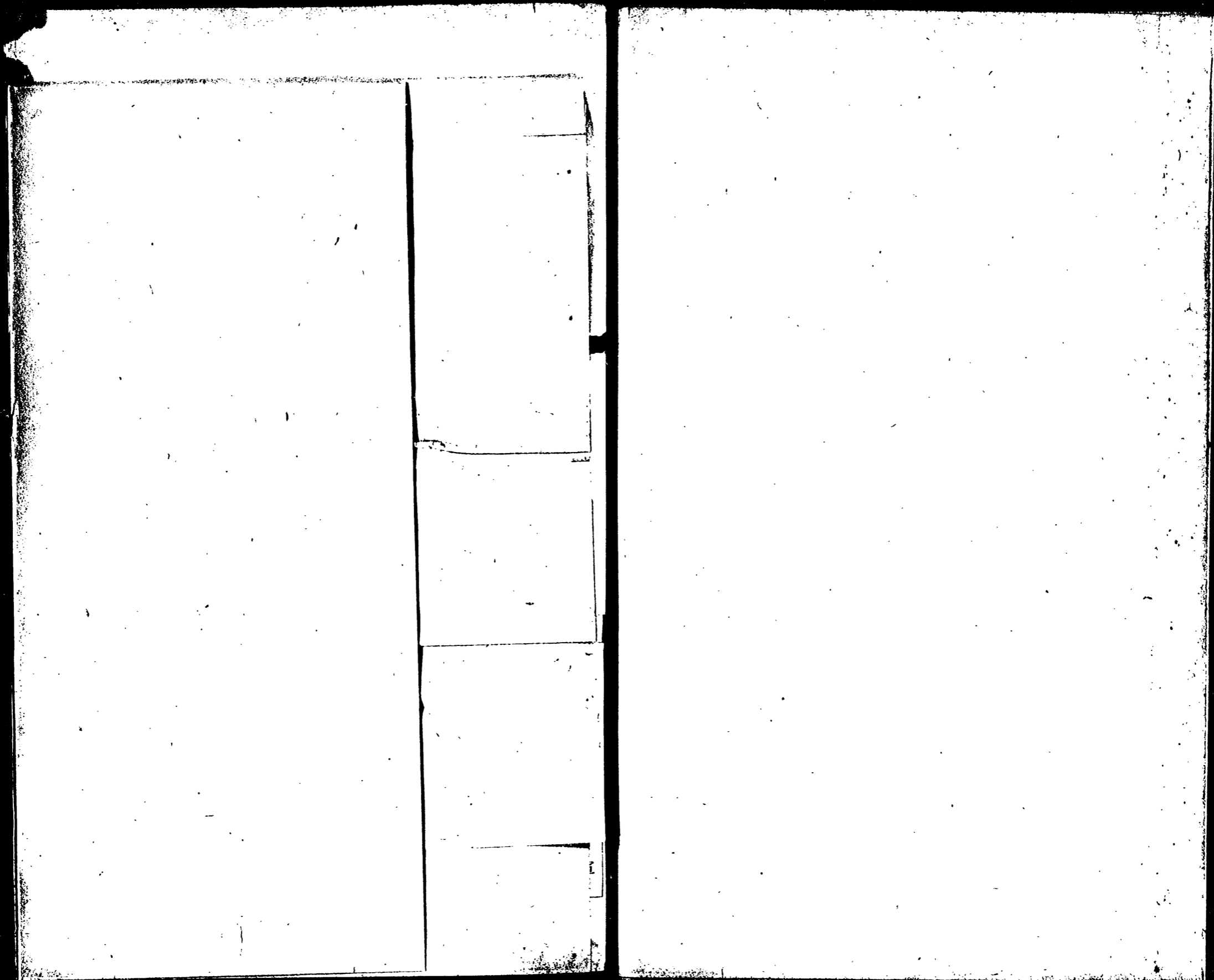
軌道敷設線

調査終了線

調査中線



裏面白紙



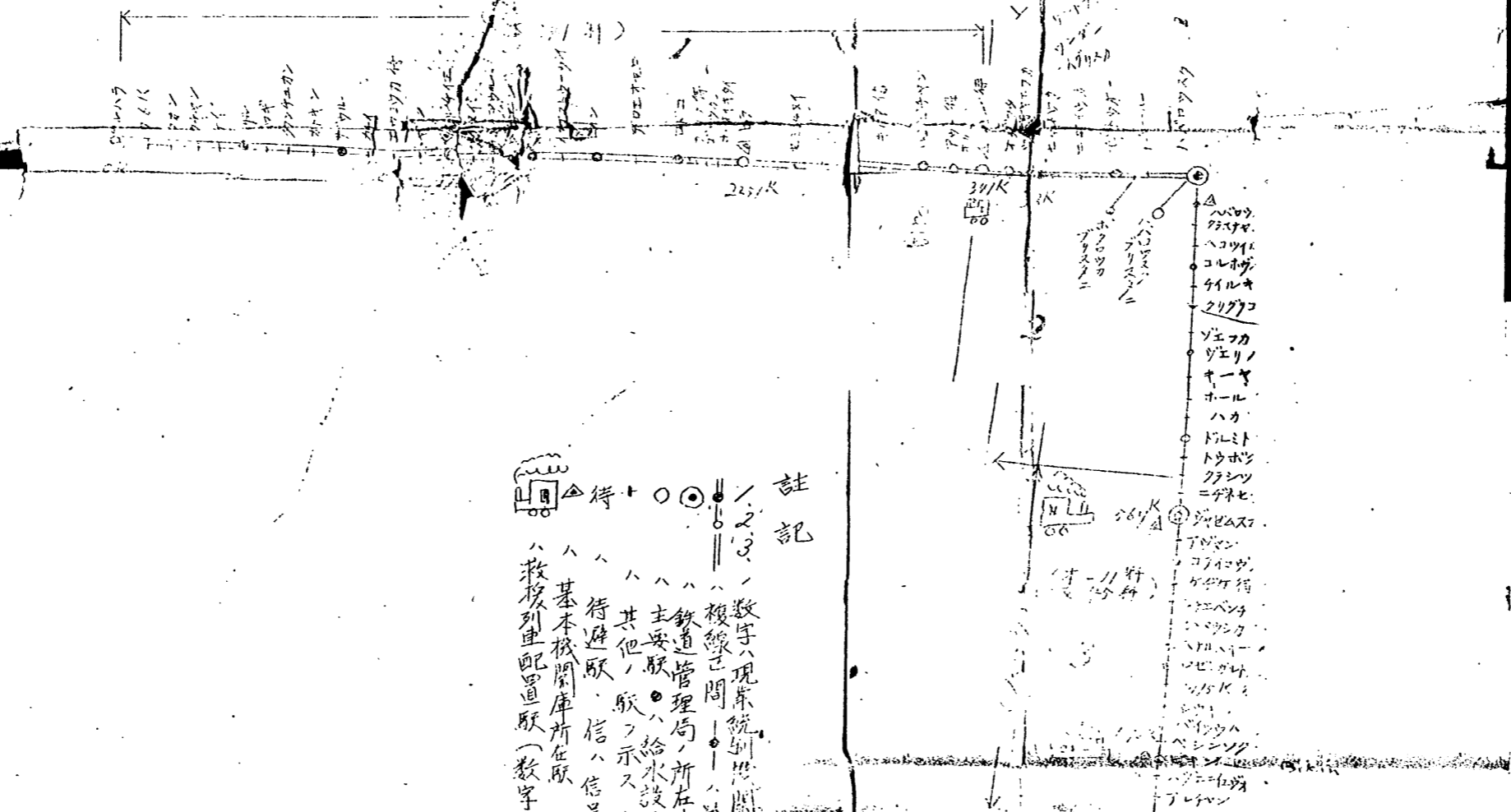
1 : 3 2

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

極東鉄道概見圖

延長 2,077 (本線 1,211 新) (支線 866 新)
停車場数

内訳	總数	本線	支線
本線	137	10	27
支線	15		15
計	152	10	53

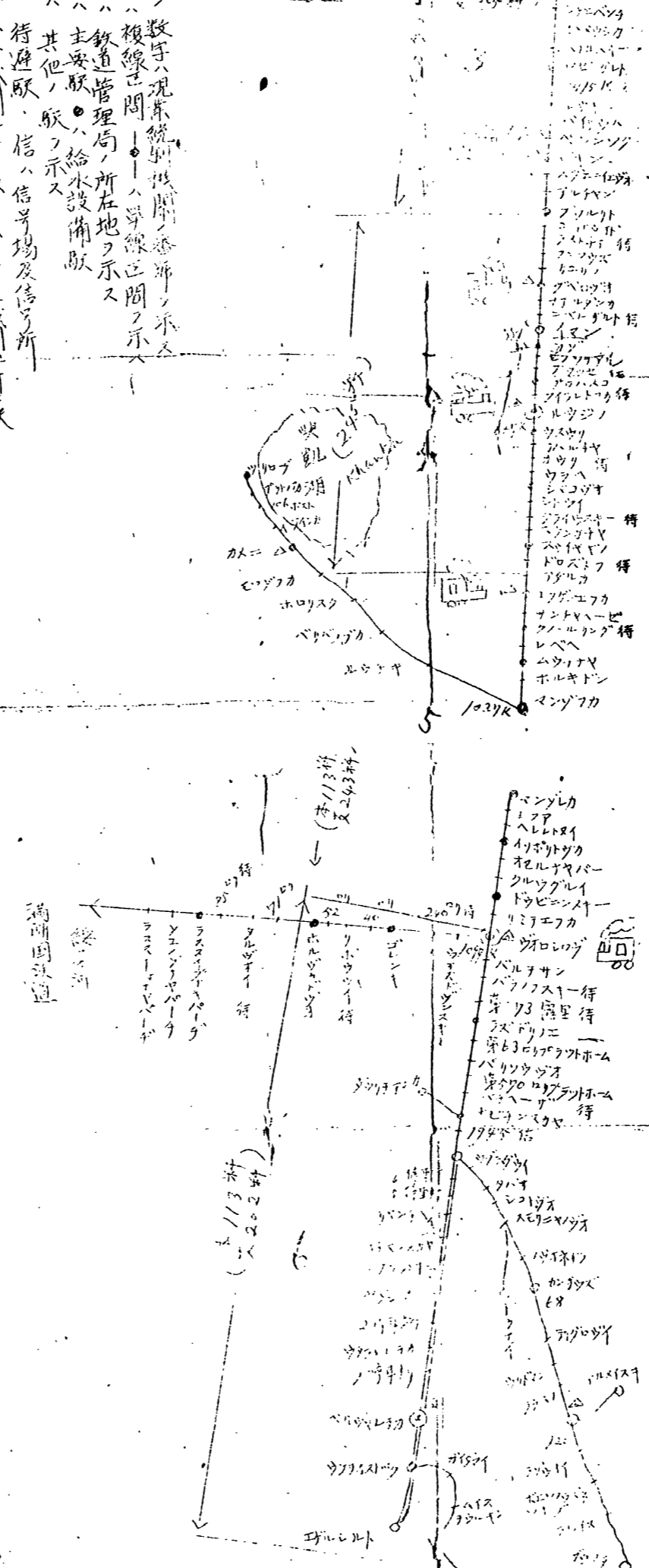


註記
 ○ 数字ハ現業統制機關
 ● 複線之間
 △ 鉄道管理局所在地
 ○ 主要駅
 ○ 給水設備
 ○ 其他ノ駅ヲ示ス
 △ 待避駅
 △ 基本機関庫所在地
 △ 救急列車配置駅 (数字ハ)

コムソウリク
 ソエカ
 ヴェリノ
 キーヤ
 ホール
 ハカ
 トムシト
 トウホフ
 クランツ
 ニゲルセ
 ツエカ
 ヴェリノ
 キーヤ
 ホール
 ハカ
 トムシト
 トウホフ
 クランツ
 ニゲルセ

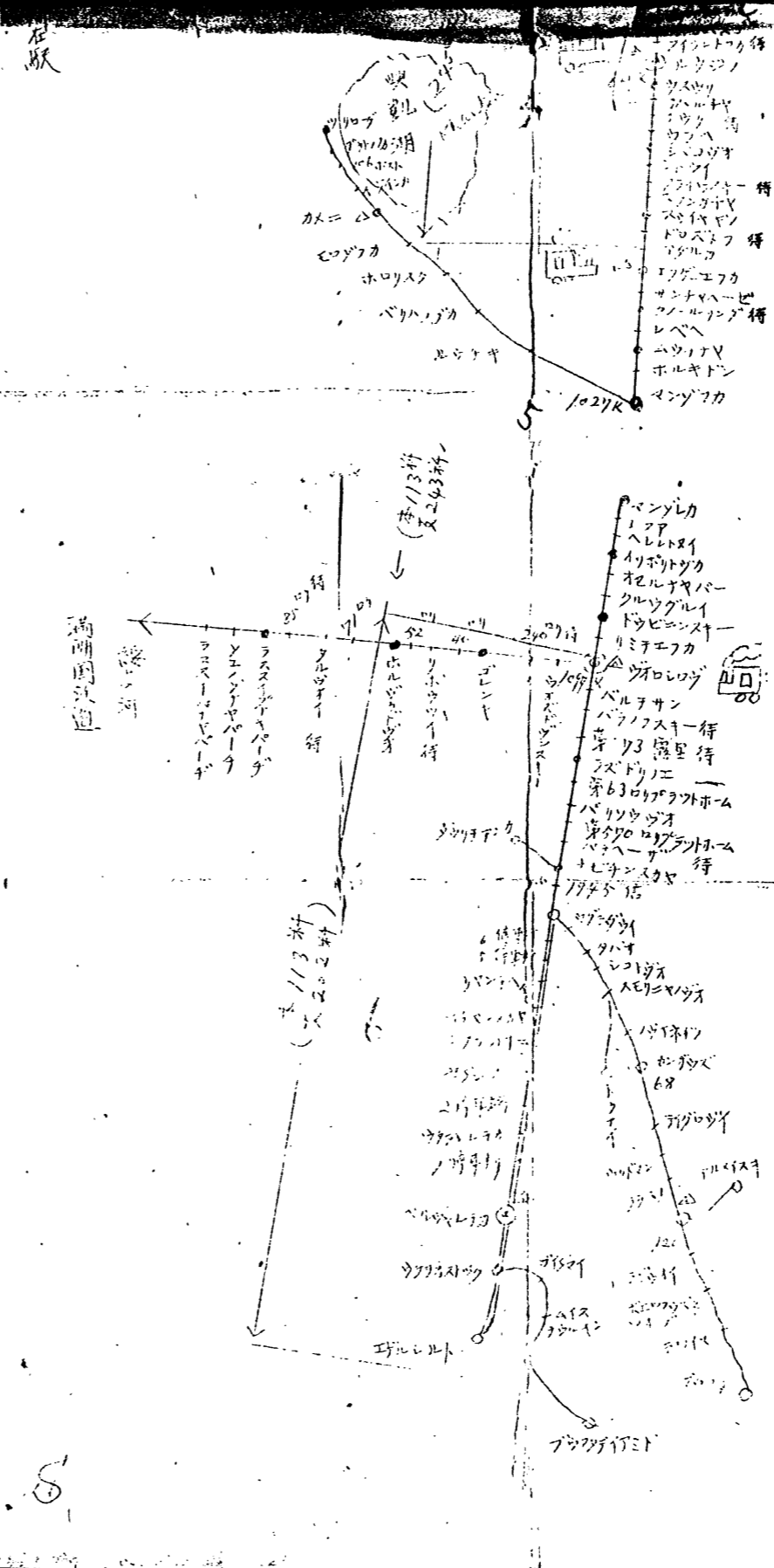
めくれず

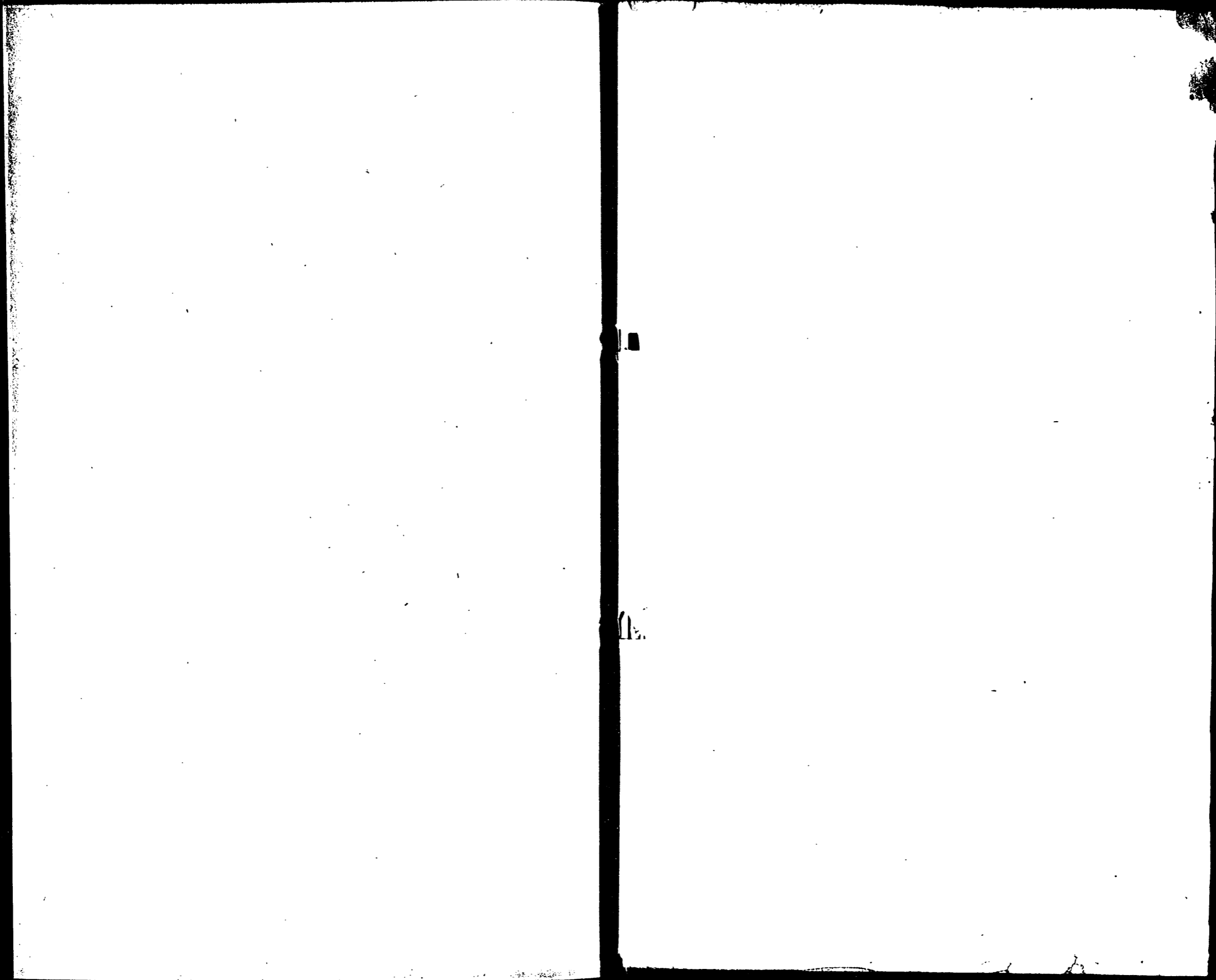
数字、現業統制機關、番號、示ス
 複線区間、ハ、單線区間、示ス
 鉄道管理局、所在地、示ス
 主要駅、ハ、給水設備、示ス
 其他、駅、示ス
 待避駅、信、ハ、信号場、及、信、示ス
 基本機関庫所在駅、△、折込機関庫所在駅
 接続列車配置道、(数字、ハ、等級)ノ、示ス

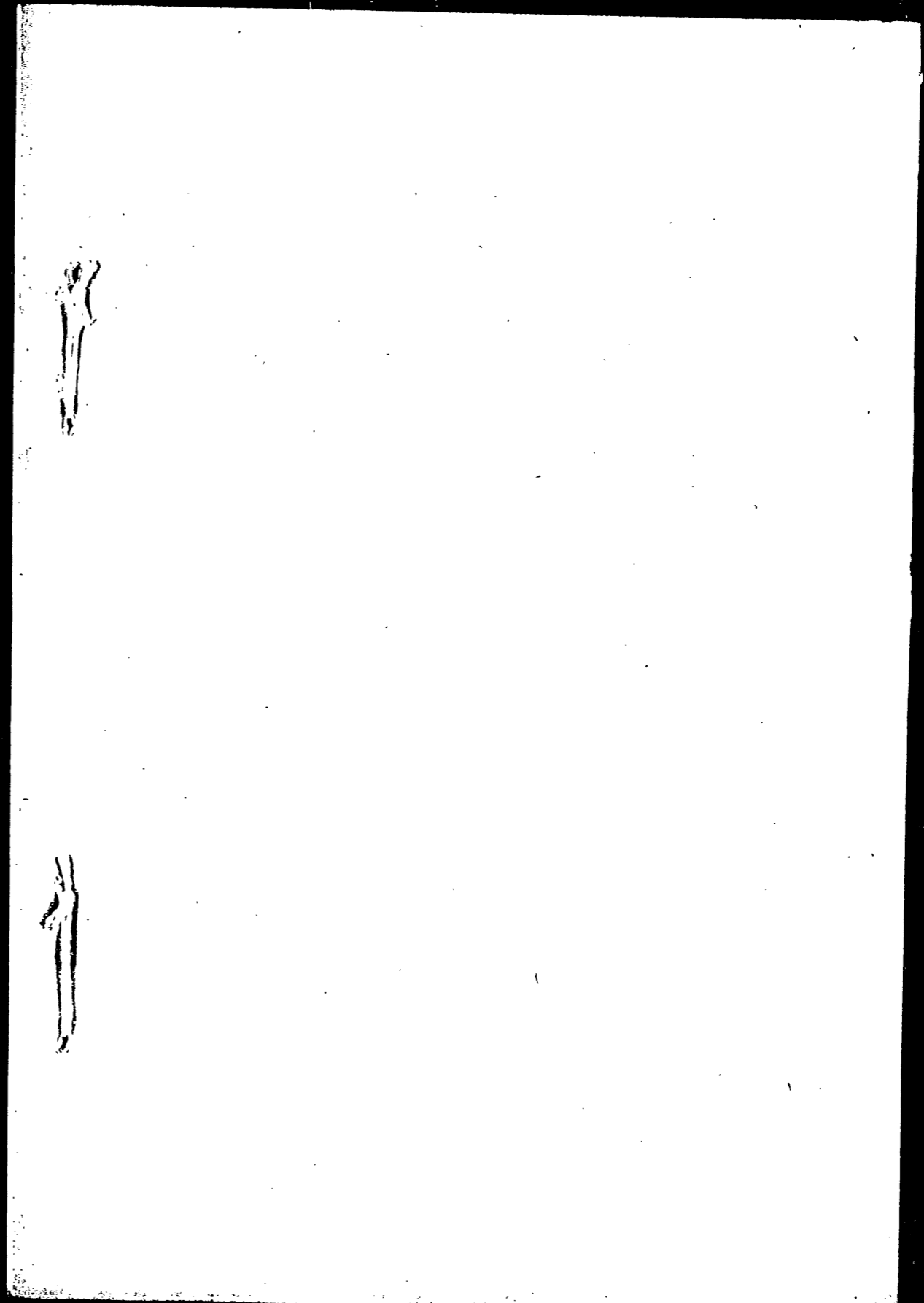


めくれず

裏面白紙
めくれず







1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

陸海軍情報部
蘇聯情報部
特異性
新

国立公文書館	
分類	② ③
配架番号	3 A
	14
	11-5

58

14

満洲徳第三〇三六部隊調査班

蘇聯謀報ノ特異性ニ就テ

極秘
防衛治安情報第二號

9-JUL 14
Copy 1959

国立公文書館	
分類	
配架番号	11-5

陸軍八三〇三
★
16.9.24
付録
隊中二第

めくれず